

# 令和6年度 第2回伊予市部活動の地域移行に関する検討会議 会議録(概要)

日時:令和6年7月23日(火)19時~20時30分

会場:市役所4階第会議室

参加者:22人

## 2 協議(進行:副座長)

### (1) 今年度の取組状況

#### ア 拠点校方式の部活動

・7月1日から伊予中女子バレー部で2例目を開始(外部指導者あり)

【港南中より】中山から2名の参加で大きな課題等はなく順調に取り組んでいる。

【伊予中より】中山からの保護者の引率が大変と聞いている。

【中山中より】中山から野球部に2名、女子バレー部に3名が本当にやりたい部活動に参加できているが、今後夏季休業中の輸送問題が課題と考える。合同部活動の男子バレーも一緒にプレー出来てありがたい。

【市教委より】拠点校方式の最初のルールで、送迎については保護者が責任を持って行うのが大前提にあったが、生徒の輸送が受益者負担になっており、事務局としても今後の課題としてスクールバスの活用は難しいが何らかの手立てを検討する。

#### イ 外部指導者の活用

・6月から港南中、伊予中、中山中で計6名実施(7月1日現在)

・拠点校以外の外部指導者は6月から、拠点校の外部指導者は7月からスタートし、6月分から謝金を支払う。併せて9月中に、指導員の方、それから先生方、保護者、それから部活動に参加される生徒の皆さん向けにそれまでの状況についてアンケートを実施する。

【港南中より】軟式野球1名が顧問、副顧問と連携を取っているので大きな課題はない。

【伊予中より】女子ソフトテニス1名と軟式野球1名で成果は出ていると思うので引き続き活用してほしい。

【中山中より】ソフトテニスに地域の方が2名参加して技術面が変わってきていると感じる。

#### ウ イベント型の体験会

・7月20日・27日伊予農業高等学校で体験会開催(両日約80名参加)

部活動(男女ソフトテニス部、女子バレーボール部、男子バレーボール部、サッカー部)を実施

※男女ソフトテニス部は港南中学校にて実施

・10月27日(日)9時から16時にしおさい公園にてスポーツ体験会の実施に向けて、各種団体に出演依頼中(スポ協、スポ少他)

【特に意見なし】

#### エ 砥部町・松前町との連携

・6月24日、7月9日連絡会を開催。

・12月頃に伊予地区合同で伊予高等学校、松山南高等学校砥部分校で体験会を実施したい。

・実施に向けて県保健体育課の仲介のなかで各校との協議を進める。

【県保体より】市町と県立高校ではアポを取るのには困難であることから、保健体育課として各学校の監督に連絡をして、3市町と協議をする場所をセッティングしている。

## (2) 今後の計画

### ア 人材バンク

・まずは教員に対し 8/22 に説明会を行い、9月初旬に小中学校教員に地域指導員としての希望アンケートを実施予定。2名程度の外部指導者を指導員として実証事業を実施予定

【伊予中より】外部指導者を増やすことは可能か。

【市教委より】予算の関係で定員増は難しい。来年度の任数等は検討したい。

地域指導員は教員が部活動をそのまま土曜日、日曜日で兼業をかけて地域指導員としてやっていく場合、学校が転動しようともその場所で指導をするっていうゆかりのある方若しくはその学校のその活動をするっていうのが原則になっている。転動したら辞めますというようなことでは継続性のない取り組みになってしまい、そこは共通理解を図った上で難しいところではあるが進めていく必要性がある。

### イ 市推進計画の策定

・今年度中に推進計画の策定を予定

### ウ 保護者・教職員・地域への周知

・PTA会長に説明済み。保護者へは秋以降にPTA会合等を通じて周知したい。

### エ 総合型地域スポーツクラブの活用

・SASAERUと連携して協議を進めている。

・地域おこし協力隊の活用検討を行い、人材バンクを設置し競技にあった外部指導者の派遣を行う。

・伊予市スポーツ協会の事務局を担ってもらい、スポーツ協会やスポーツ少年団の受け皿の創出や指導者の確保を目指す。

・ビーチバレー普及委員会と一体となって活動を行い、伊予市がビーチバレーの聖地となるよう地域や団体と連携することで競技人口の拡大及び受け皿にもなる。

・これまで部活に入っていなかった生徒や、なんとなく部活に入っていた生徒が、気軽に体を動かせる場所を目指す。

【PTAより】保護者からすると、何のこともやろうみたいな感じが正直なところで、拠点校の種目が少ないということもあり、これからどうなっていくのだろうという漠然とした不安を抱えている方が多い印象。どうせやるならより高みを目指したいという方は、民間のクラブチームへ行ったり一部の選手やコーチ等に指導を受けて、もっと強くなりたい、もっと技術の向上をしたいという感覚になって、部活動の地域移行になってもそんなみたいな感じの意見があった。

【委員より】スポーツ少年団については、小学校別で活動する競技がいくつもあるので、そのまま中学上がってもらい、中学からもスポーツ少年団の指導者がそのまま受け皿として行ってもらえればスムーズに行く可能性が高いので、いろいろな面でご協力をお願いしていきたい。

【委員より】協力隊の活用はどのような形になるのか。

【市教委より】プロスポーツ選手やレベルの高いところで活躍された方が引退した後のキャリアとして協力隊として伊予市にお越しいただいて、私達の思う事業に取り組んでもらいたいと考えている。

夏季休業中に平日の指導を行う場合、年次有給休暇対応と地域指導員となると給料二重に取ることはないのか

【県保体より】部活動指導員でもどのような形にすればスムーズになるかというのは話し合っているところで、国からの情報待ちのため、県としての考えがお示しできるようになるまでお待ちください。

## オ 拠点校等における輸送手段

・拠点校における平日の輸送の方策を検討する。

【座長より】平日の輸送の問題は、改善しないといけない課題と考える。受益者負担も検討をする。

### (3) 伊予市立中学校の部活動地域移行計画の修正

・別添ロードマップより説明し、皆様からいただいたご意見などを加えて修正しホームページに公表したい。

【委員より】文化部は今後のようになるのか。

【市教委より】高校との連携等検討する必要がある。社会教育団体である文化協会等との連携も検討が必要と考える。

【委員より】コミュニティ・スクールの活用も重要になってくるのではないか。

【県保体より】国自体が文化の方が後追いで、国の事業への参加率も文化の方はまだまだで、愛媛県の文化振興課が、県の文化協会の代表の方と地域移行についても話し合いを進めている。指導者の確保では、文化協会の会長さん方は年齢層が高く時間にゆとりがある方も多くて、ボランティアで各学校の方に行くことに対して体制を整えてクラブ化していくというような形の説明会を重ねているような状況である。

他市町では地域おこし協力隊にパソコンに堪能な方が来られていたので、その方がパソコン教室やパソコンクラブのようなことをやっているという事例がある。県の義務教育課と、文化振興課の方からも市町連絡協議会のとき今後のアイデア等についてお話できるように準備を整える。

地域移行が進んでいると言われている新潟県と茨城県を訪問したが、レベルが違うと感じた。質の高いものを還付させるのも一つの手だし、茨城県の中では県境にすごい小さな町が BMX とあまりメジャーではない種目を、ここが発祥の地として市外からどんどんそこに人が寄ってくるっていうよう発展をさせるということで活動を維持していることを聞いた。

令和 8 年度から休日、ある程度の受益者負担を伴いつつ体制をしっかりと整えていくというのが計画的な取り組みというのはすごくありがたいと思う。

## 3 その他

### 第1回伊予市部活動の地域移行に関する検討会議 会議録の確認

#### ・今年度の検討会議の予定

第3回 10月22日(火)(予定) 第4回 2月18日(火)(予定)

- (参考資料)
1. 第2期愛媛県スポーツ推進計画
  2. 伊予市地域スポーツ体験会 in 伊予農業高等学校
  3. 伊予市スポーツ体験会要項